

Q. 今回の「こどもまつり」で、苦労されたこと、工夫された点はありますか。

A. 今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。

Q. 今年のこどもまつりを実施するうえで何が一番の特徴でしたか。

A. 何か大きな催しを行う時は、いろいろな団体がつながり協力しあうことが大切です。今回は地子連・青少年委員・公民館の連携が上手で、青少年指導員もとても力になってくれました。

「こどもまつり」は子どもが主体のもので、大人がしっかりと土台を作り導いてあげることが大切です。子どもが居ることは、自分でやらせ手が届かないところは大人がつかんでやらせてあげるといことが重要です。

Q. 今回の「こどもまつり」で、苦労されたこと、工夫された点はありますか。

A. 次世代につないでいくために、後任を育てていくことも大切です。自分がいなくなっても団体がきちんと継続して活動していけるようにしていきたいと思っています。



### ステラ輝き人 その5



近藤大助さん

回は準備の日数が少なかつたので、大人がまず相談し話し合いました。子ども達もとても前向きに参加してくれたので、何も言わなくても自分達で考え行動できました。年々から参加した子ども達もやるにふれていて、とても楽しんでいました。子ども会も地子連も単一団体では地域で活動はできません。これからは他団体と力しいながらやっていきたいと思えます。そのためにも地域で一番愛される団体になれるよう努力しています。

Q. 近藤さんは青少年の「エッジホッグ」という団体も運営されているそうですね。

A. 昨年から中学生の活動団体として子どもたちに自分達の好きな活動をしてもらいたいという思いで始めました。昨年に引き続き「公民館まつり」にも参加する予定です。これからの目標は？

# こどもまつり 2018

スライムづくりに興味津々

ここはしっかりとめてね。

ひとつ100円で一す。

お昼時の模擬店は大盛況

普段はできない抹茶の体験

井戸の中からうらめしや〜

おぼけ屋敷前の行列



熱心に津久井城歴史の話を聴く

今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。

Q. 今年のこどもまつりを実施するうえで何が一番の特徴でしたか。

A. 何か大きな催しを行う時は、いろいろな団体がつながり協力しあうことが大切です。今回は地子連・青少年委員・公民館の連携が上手で、青少年指導員もとても力になってくれました。

「こどもまつり」は子どもが主体のもので、大人がしっかりと土台を作り導いてあげることが大切です。子どもが居ることは、自分でやらせ手が届かないところは大人がつかんでやらせてあげるといことが重要です。

Q. 今回の「こどもまつり」で、苦労されたこと、工夫された点はありますか。

A. 今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。

Q. 今年のこどもまつりを実施するうえで何が一番の特徴でしたか。

A. 何か大きな催しを行う時は、いろいろな団体がつながり協力しあうことが大切です。今回は地子連・青少年委員・公民館の連携が上手で、青少年指導員もとても力になってくれました。

「こどもまつり」は子どもが主体のもので、大人がしっかりと土台を作り導いてあげることが大切です。子どもが居ることは、自分でやらせ手が届かないところは大人がつかんでやらせてあげるといことが重要です。

Q. 今回の「こどもまつり」で、苦労されたこと、工夫された点はありますか。

A. 今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。

## 歴史講座「津久井城」

今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。

Q. 今年のこどもまつりを実施するうえで何が一番の特徴でしたか。

A. 何か大きな催しを行う時は、いろいろな団体がつながり協力しあうことが大切です。今回は地子連・青少年委員・公民館の連携が上手で、青少年指導員もとても力になってくれました。

「こどもまつり」は子どもが主体のもので、大人がしっかりと土台を作り導いてあげることが大切です。子どもが居ることは、自分でやらせ手が届かないところは大人がつかんでやらせてあげるといことが重要です。

Q. 今回の「こどもまつり」で、苦労されたこと、工夫された点はありますか。

A. 今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。



秋晴れの中、発掘調査を見学

今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。

Q. 今年のこどもまつりを実施するうえで何が一番の特徴でしたか。

A. 何か大きな催しを行う時は、いろいろな団体がつながり協力しあうことが大切です。今回は地子連・青少年委員・公民館の連携が上手で、青少年指導員もとても力になってくれました。

「こどもまつり」は子どもが主体のもので、大人がしっかりと土台を作り導いてあげることが大切です。子どもが居ることは、自分でやらせ手が届かないところは大人がつかんでやらせてあげるといことが重要です。

Q. 今回の「こどもまつり」で、苦労されたこと、工夫された点はありますか。

A. 今年、星が丘公民館「こどもまつり」が大に開催されました。今回、中心となり企画・運営をされた星が丘地区の地子連の近さにお話を伺いました。

## 年も大盛況 星が丘こどもまつり

11月18日(土)「こどもまつり」が盛況でした。

「前は打ち合わせから実行委員のみなさんはやる気満々で、おぼけ屋敷ゲーム、模擬店の準備と用意万全でした。

「日はたくさんの方が訪れ、公民館中も外も人であふれていました。

「階ではゲーム・おぼけ屋敷・小一の絵画展。2階はスライムや子ども達の作るチョコバナナやエのお店と魅力いっぱい。お茶は普段は飲めないお抹茶の体験ができました。

「子ども達は積極的に館内放送や呼び込みをして、頑張っていてと集めていました。おぼけ屋敷のおぼけそれぞれ本格的なメイクをほど入場者の恐怖を誘っていました。

「ライムのコーナーは今年にはシェアードフォームを混ぜこみ伸びがよかったです。好評でした。午後にと2階の子ども喫茶コーナーで並び切れが続出。どこのコーナーも盛況でした。

「年のこどもまつりも例年以上の盛況になりました。